

生徒会テーマ：感謝 ～「ありがとう」で溢れる学校へ～

6月1日(金)いのちの集会を開き「いのちの講話」を行いました！

毎年6月を、佐世保市内小中学校及び義務教育学校においては、「いのちを見つめる強調月間」と位置づけ、いのちに関わる取組を行っています。

この取組は、本市において、平成16年6月に発生した事件や平成26年7月に発生した事件を省み、このような悲惨な事件を二度と起こすことのないように、また、風化させないために、改めて「いのち」の重みを心から感じ取り、思いやり深く人とかかわることのできる豊かな心を育むために実施しています。

今回の集会では、最初に事件で大切ないのちをなくされた被害者の皆さんのご冥福をお祈りして、黙祷を捧げました。その後、校長講話として、次のような内容の話をしました。

現在の私たち日本人の平均寿命は、男性 80.9 歳、女性 87.1 歳です。ほぼ 80 歳といったところです。たった一度の人生、たった一つのいのち このいのちをどう生かすかについて考えてみましょう。

私は自分の人生をこのように生きたいと思います。①後悔しない人生 ②人に迷惑をかける人生 ③人や社会に役立つ人生 ①について、人生には何度か岐路があり選択をする時がありますが、その判断が良かったか悪かったかはその時点では分かりません。しかし、選ぶのは自分です。選んでことに責任をもって悔いのないように生きていきたいと思えます。②について、私たちは絶対に一人では生きていけません。衣食住において誰かのお世話になっています。そのことに感謝し、自分を育ててくれた保護者に感謝し、お世話になった人々を困らすことのないように生きていきたいと思えます。③について、教師になり、教え子たちと大人になってから再会する時があります。そのときに中学生の頃に叱ったことや教えたことに感謝を述べてくれることがあります。わずかなことではありますが少しは人の役に立ったのではと思う時があります。

あなた方はどう生きていくのでしょうか。(80年間の年表をみせます) この中で、私たちが過ごす時間は働きだしてからが長いのです。約40～50年間あります。この時期を充実させるためには、今の小・中・高の時期が大事になります。アルバイトやパートだけで生きていくことはできますが、一人で生活するだけでも厳しいものがあります。将来をしっかりと見据えるためにも、今の時期を大切にしてほしいのです。勉強は高校入試のためだけのものではありません。様々な教科に触れることで、自分にとって得意・不得意がわかります。つまり、自分自身を理解するチャンスなのです。自分自身をよく知ることでやりたいことや就きたい職業が見えてくるものと思えます。

たった一つのいのち、一度きりの人生です。このいのちを大事に生かし、幸せだといえる人生にしていきたいと思います。



## 《お知らせ：教育実習が始まります》

6月5日(火)～22日(金)の3週間に、本校の卒業生が教師を目指して実習を行います。

ほんむらゆま ほんむらゆま  
本村優菜さん(英語)：1年生所属、こが 古峨ひかりさん(社会)：3年生所属。

また、6月中旬から、図書ボランティア(5名)の皆さんと学生ボランティア(5名予定：長崎国際大)の皆さんが本校にきていただくようになりました。6月13日(水)の全校朝会で紹介します。

生徒の皆さん、保護者の皆さん よろしくお祈りします。